

緑化委員会広報

新役員選出してスタート

平成28年度緑化委員会

緑化委員会の平成28年度新役員体制が決まり、スタートしました。

委員長の柏木清志、総務の宮坂秀一の両氏が留任し、新役員に永山勝比古、昆野直樹の両氏を選出。阿部明彦、石橋哲夫の両氏は



ユキヤナギの刈り込み作業と雑草刈り（平成28年5月8日）

ち、平成27年度第4回委員会を開催（3月6日）、脇副委員長が平成27年度業務運営報告と平成28年度業務

運営計画、平成27年度予算実績見込みと平成28年度予算案、アダプト会の作業計画などを報告し承された。

今年も一緒に頑張りましょう 中高木の植栽管理が課題

緑化委員長として4年目を迎えますが、委員皆さんのボランティア活動に支えられながら活動し、昨年度も委員の方に大きな

も緑化委員でシラカシなど住民の要望に応じて数本伐採しましたが、今年度も緑化委員で出来る作業は進めたいと思いますので、皆さんの一層のご協力をお願いいたします。

最後に5年間、副委員長として活躍した脇さんが退任することになり、残念ですが長い間ご苦勞様でした。今後とも団地の緑化活動に協力のほどよろしくお願いたします。

（委員長 柏木清志）

新年度も健康な汗流したい 楽しみな樹木の生育

樹木の伸長が盛んになり、花を咲かせたり、新芽がぐんぐん伸びたり、近隣を歩いても楽しい季節になりました。当団地内でも緑化委員や居住者が汗を流しながら手入れしてきたウメ、ユキヤナギ、ヤマブキなどがいつものように咲いてくれました。

また、ユキヤナギは今年の春に枯れたところへ新しい苗木を植えるとともに、以前の株を短く刈り込みましたが、それらがどのように育っていくのか楽しみでもあります。これらに注意深く観察しながら、本年度も健康な汗を流したいものです。

今般、私は緑化副委員長を退任しました。とてもありがたい5年間を頂いて、個人的には樹木に対する興味を高めることが出来たよ

今後の当団地の植栽管理の問題として高木に関する対応は、防災上の観点や費用の問題などから検討すべき課題と考えます。昨年度

今年春にかけて並木道と団地石垣の間にコンクリートを打ち込んで防壁を作り、根を遮断する工事を実施しました。写真。

並木が石垣に接近している区間では、モミジバフウを伐採することも検討したようですが、団地側の倒木する恐れはないと判断し、コンクリート壁を設置したとのことでした。

うな気がしています。これから委員の一人として、自分のできることを楽しみながらやっていたらと思っています。

新役員の皆様にはお世話頂くことになるでしょうが、よろしくお願いたします。
（前副委員長 脇文雄）



根を切断しコンクリートで防壁構築（平成28年3月21日）

コンクリートで防壁

並木の根を切断

ホームタウン鶴牧6団地の「そよかせの道」のモミジバフウ並木は毎年、「春の新緑、秋の紅葉」を鮮やかに演出し、居住者を楽しませてくれますが、樹木の成長につれ、大きな根が団地の石垣を突き破って、敷地内に入り込んでいることが判明しました。

鶴六アダプト会が理事会を通じ多摩市に対策を要望した結果、市が昨年夏から今年春にかけて並木道と団地石垣の間にコンクリートを打ち込んで防壁を作り、根を遮断する工事を実施しました。写真。

